

1. 件名:「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-146)、  
廃棄物管理施設(121)、MOX 燃料加工施設(2-98))」
2. 日時: 令和6年2月2日(金) 10時00分~11時55分
3. 場所: 原子力規制庁 10階会議室 (TV会議により実施)
4. 出席者  
原子力規制庁  
原子力規制部  
核燃料施設審査部門  
(原子力規制部新基準適合性審査チーム)  
古作企画調査官、大岡主任安全審査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、新井安全審査官、小野安全審査官、  
上出安全審査官、山口係員、横山原子力規制専門員  
日本原燃株式会社  
決得 執行役員 再処理・MOX 設工認総括副責任者 他8名
5. 要旨
  - (1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和6年2月1日提出資料に基づき、今後の進め方について確認を行った。
  - (2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。
    - ・次回以降の審査会合での説明項目に応じた説明計画を立てるとともに、課題がある場合はこれを明確にして段階的に説明を進めるなど着実に進められるように計画する。
6. 自動文字起こし結果  
別紙のとおり  
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
7. その他  
提出資料  
なし

#### 参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書(令和4年

12月26日)

「日本原燃(株)から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000120.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html)

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書(令和4年12月26日)

「日本原燃(株)から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000121.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html)

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書(令和4年12月26日)

「日本原燃(株)から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000122.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html)

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書(令和4年12月26日)

「日本原燃(株)から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000123.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html)

- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書(令和4年12月26日)

「日本原燃(株)から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000124.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html)

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書(令和5年2月28日)

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000242.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html)

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書(令和5年2月28日)

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000243.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html)

- ・ 令和6年2月1日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	規制庁カミデそれでは、日本原燃とのヒアリングを開始します。
0:00:06	本日は、令和4年12月、20、
0:00:11	6日に申請があった再処理施設及び管理施設、また、令和5年2月8日に申請のあったMOX施設のスタッフコウに対して、
0:00:21	昨日、2月1日の提出資料に基づき事実確認をするものです。規制庁側の出席者ですけど、オノハバサキキシノ。
0:00:33	ヨコヤマヤマグチコサクカミデWebからオオオカオオハシフジワラアライとなっています。
0:00:40	それでは、原燃の方から出席者と資料の紹介をお願いします。
0:00:46	はい。
0:00:47	日本原燃事務局の中浜です。
0:00:51	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:00:55	Steeringチームより、
0:00:57	ケツク、
0:00:58	ハセガワ、
0:01:00	イシカワ、
0:01:02	ノモト、
0:01:03	イシグロタカヤイシハラ。
0:01:07	ウェブからの参加ですけれども、サポートメンバーといたしまして、イトウセガワ。
0:01:13	再処理及びMOXの事務局参加させていただいてございます。
0:01:19	本日まで確認いただきます資料ですけれども、昨日ご提出差し上げました。今後の進め方、
0:01:25	のご確認をいただくこととなっております。
0:01:29	それでは資料の説明の方よろしく願いいたします。
0:01:33	はい。
0:01:46	ちなみに、
0:01:47	今6ヶ所聞こえてました。
0:01:51	はい、六ヶ所です六ヶ所聞こえております。はい。
0:01:56	はい。
0:01:57	はい。1月は前回から変わっております。2ポツの審査会合の説明方針。
0:02:03	はい。江藤新開の説明方針の次回のところですけども、これの一番関係のご審議いただくという場でございますけれどもこのちょっとアノオオクボ。

0:02:14	そうですね。広さポツ2とそれから、今の会合資料の目次構成とそれこそ整合をとりまして、書いてございます。
0:02:25	で、今回は東電さん再生品ところまでとする柿木の2番の特徴をとらえた規格の検討方針といったところまで、ご審議いただくということになってございます。議事課の会合の
0:02:38	予定のところでございますけども、ここで書かせていただいているものが、この敷地地盤特徴とらえ、地下構造これは、次回は結果といいますか、答えをご提示するというを我々のところでございます、
0:02:51	その平均を切る地盤モデルであります基本地盤モデルにつきまして、これ必要な検討コウ検討方針、それから、作成です。それに基づいて作成状況とそれから算定状況ということで、
0:03:04	一部ですね、実際にその検討方針に基づいて作成している様ですとかそういうところまで、ご説明いただくかなと。
0:03:15	いうふうな事故でございます。その次の理事会のところ、セキにおける地盤モデル基本地盤ホテルの作成結果をご提示して、基本地盤モデル設計部的な考え方についてここもある程度状況といった形で、
0:03:29	できたらなというふうに考えてございます。すいません、今のところだけ筆談で申し上げましたけれども、トーセの
0:03:39	はい。
0:03:41	説明グループ1のボックス説明グループ評価の方は、
0:03:46	後程3.1-2-2の
0:03:49	進めたい。川瀬。
0:03:53	3ポツ、3.1、
0:03:55	2ページ目の2-1システムの的に構造設計、
0:04:10	お話しさせていただきました。
0:04:17	ましたが、
0:04:19	2月16、
0:04:23	9月からやり始め、
0:04:29	今継続中のBSM項目につきましては、
0:04:35	もし、
0:04:40	対応につきまして、
0:04:50	所、共通。
0:04:54	計5台。
0:04:56	説明グループ1のヒアリングとしましては、3月の会合、
0:05:01	ということも

0:05:02	人事委員会の会合というところを見据えながら対応していく必要があるのかなというふうに考えておりました、複数回のヒアリングは必ず必要ということで、
0:05:12	まず一つ目の1回目のヒアリングでは、修正点をどのような形でどのような考え方で修正したのかといったところの部分ですね。
0:05:21	資料3の代表設備の構造設計の説明を行ったところ、
0:05:27	その次には個別の話のタケヤ開口に対する設計と、
0:05:32	具体的に確認いただく必要が特にあるのかなといったところを、ご説明するような形でちょっととどンドン進めていきたいと。
0:05:39	いうふうに考えているところでございます。
0:05:44	はい2ポツの2-2の解析評価等のところになります。
0:05:51	モック説明グループ1評価、なかなかすいません、うまくちの方が説明できてないので、
0:05:58	触れてますけども、
0:05:59	前回もお話した通り、木造の説明グループ1評価の部分は、評価パターンが(1)(2)(3)と三つのパートがございます。
0:06:09	(1)(2)のパートと、(3)のパートを、
0:06:15	こちらの実力等も踏まえて分けて、今後、資料提出ヒアリング、
0:06:21	いうことを組みさせていただこうと思っております。
0:06:23	特に評価パターン(3)につきましては、グローボックス呉に関するパートをいう。先行して、
0:06:32	やらせていただくということで整理をしております。
0:06:35	星が三つございまして、三つ目の方針のところでは評価パターン(3)ですけども、
0:06:42	グローボックスに係るパートの部分の説明につきましても、
0:06:48	今までやってきたことを整理いただければそれほど時間がかからないでしょうと、いうふうに思っておられるだろうと思う。グローボックスの設計の前提にある部分をまずしっかりと整理をして説明していく、させていただこうと思っております。
0:07:01	グローボックスの、これほとんど資料3に結局はね返る部分になるので、そこを丁寧に整理をしてやらせていただくというのをまず先行してやらせていただくと。
0:07:10	その上で、その設計を考慮し、前提にしたときに、評価上どういふような条件設定をしていくのが、も最もあるべき姿なのかということにつながっていくというステップで説明をさせていただき、ご質問、
0:07:24	特に内装機器の

0:07:28	設置状況がどうなってるかとかですね、今までの資料3のよりあまり具体的に説明してないので、
0:07:34	というのとあとグローボックス前回富士電機さんに説明していただいておりグローボックスの構造って一体どうなってるのかと。
0:07:39	結局アノタテ同横井長久手奥行きが人が両方から手突っ込んで繋がるように、奥行きが非常に狭い状況になってるので、直交代でも奥行きがあまりないような、
0:07:50	不安定な状況の形になってると、いうこと、あと耐震サポートじゃつければ後になるんじゃないのかっていうのも結局アクセス性の問題でなかなかサポートが無尽蔵につけられない。
0:08:01	ナカノ梁とか柱も太くすればいいじゃないかとなるとこれもまたナカイグループ突っ込んで採用しようと思うと、その柱が邪魔になるっていう、いろんな制約があるのでどういう制約でそういう構造になってるのかっていうのをまずはベースとしてしっかり説明していこうと。
0:08:17	いうふうに思っております。その部分とあとは、評価の条件設定の部分というのを、順番に説明させていただくというのがこの方針の三つ目に書いてある趣旨でございます。
0:08:27	はい。
0:08:29	サンポのアノたい。
0:08:32	先ほど申し上げましたが項目の、ちょっと風速取ったっていうのはやってるんですけども、えっとですね私建物08のところ、当今かいいご提示させていただいてるのが次回の提出ですね。
0:08:46	なんか2月9日提出の18日日やというふうに申し込ませていただいてたんですけども、これ、今16日提出20日日やっていう形に、
0:08:58	記載をしています。これですねちょっとまた我々の中で、
0:09:06	詰め切れていなくてですね昨日のヒアリングも踏まえまして我々もこのas-isとしてのデータの集約の考え方ですねこれやはりちょっと変更したのを踏まえて、
0:09:19	ちょっとここからどういうふうにまとめていこうかというところがまだ我々の一つに聞いておりませんで、このスケジューリングではこの3ポツの冒頭に書いてるような今後の審査会合の説明方針を達成するような、
0:09:32	計画になってないということを重々承知の上で、すいませんちょっと高齢仕掛け図って今こういう状態で、ちょっとお聞きしてるという状態であるのはちょっと申し訳ないんですけどもちょっとここ社内で検討させてください。以上でございます。
0:09:47	はい。

0:09:49	続きまして別添 7-4 ページ。
0:09:54	5 ページ目が、それぞれのグループ、最初に廃棄物の普通いろんな説明グループがあつて、
0:10:02	先ほどあったようにグローブボックスの耐震で、
0:10:05	説明グループ 1 の構造にはね返る部分があるので、そこも含めて同意的には示さなきゃいけないところですけどまだ追いついてないと。
0:10:12	ございました。
0:10:13	あとはいろいろ帯の評価の部分は最初には今、整理を進めているところでして整理が終わり次第、ここにオギとしては反映した上で、
0:10:25	MOX側との連携が必要な部分っていうのを明らかにしていこうと。
0:10:29	ということで考えてます。
0:10:30	5 ページにですね、構造設計の説明において、
0:10:36	もう最初にトモクで、どういう関係性があるのか、どちらで全体なり何なりを説明していくのか。
0:10:45	先行してやろうと思っている部分ですね。
0:10:48	ていうのと、特に再処理は全体枠押さえてますんで木材基本的には差分の説明になるとは言いながらも、説明グループの順番の関係で、耐震部分と、
0:11:00	火災ですね、これ前回、そういうやり方もあるけどあんまりよくないよねと言われてしまっていた火災が特にですね、
0:11:08	大部分、か再処理が全体を説明してるんですけども、
0:11:13	MOX先行して説明するとき、MOX固有のところを、先行で説明をさせていただくと、ここは再処理と同じなので最初ニワが出たときに一緒に説明しますみたいな、
0:11:24	説明の仕方をさせていただこうということで考えております。はい。
0:11:28	こういう形で、全体枠どちらで抑えるのかで、先行してあるのかどっちなのかということ整理をして、これに合うように、ニイツイソダしながら、ヒアリングで説明をさせていただくと。
0:11:41	ということで考えておりますということでございます。
0:11:48	これ 1 回区切ったほうがいいですか、1.2 万円。
0:11:52	そうです。はい。はい。一般、
0:11:54	はい。
0:12:09	コサクです。まず初めに耐震の話をしてしまった方がいいかなと思うんですけど。
0:12:16	宇野さんが言われてたように、次次回会合に向けてっていうのがスケジュールリングになってないっていう。
0:12:26	うん。

0:12:28	するんですか。
0:12:30	今のところ 3 ページと思う。
0:12:32	ちょっと前倒しを何とかしないと。
0:12:35	当然出してヒアリング委員会、議会、
0:12:38	が必要だという認識がありますので、ちょっと部分的にでも切り出してですね
0:12:43	今、アズイズ 6 のところを特にですね、
0:12:47	昔、
0:12:49	する方法を今模索して、
0:12:52	その方向でございます。
0:13:00	ごめんなさい。
0:13:02	ロックって言われ、
0:13:05	キタノは、
0:13:09	この資料で言う②。
0:13:14	②になります。はい。
0:13:17	②のところを、
0:13:20	まで出すとしてもですね。
0:13:23	今湯
0:13:25	定数の、そのデータの集約のくくりをちょっとどう、早急に各論に入るかよくわからない。はい。はい。
0:13:37	②っていうのは何なんだっていうのがよくわからなくてですね。
0:13:43	ええ。
0:13:45	結局は 033。うん。
0:13:49	がどうあるから、こういうことまでは明確にしておかないとというまとめの場所ですよ。
0:13:56	とすると③がないのに、うん。
0:14:00	②だ形で時間かけてどうすんのっていう気がすんですけど、③はどうなるんですか。
0:14:06	えっとですね、
0:14:09	③での検討っていうのは②踏まえて、設計時の扱い、決めていくというためになると思っていて、そういう意味での継続。
0:14:19	自体は、藁谷社員。はい。私の言ってることに納得いかないって言うるんです。いえ。
0:14:26	タダクボタニヅアマヤオダしちやって、真正面から違います。違う。
0:14:34	ニワもそんなに前のところはない。
0:14:38	なるほど。



0:14:40	昨日、ヒアリングであとちょっと平均をする計算をしたりする制度引き回すっていうのがあるんです。
0:14:46	そんなもんワークしてもらおうと。で、③はやはり、戦略性をもって、戦略性っていう考えを持って進めなきゃいけないと思うんで、昨日のちょっと我々、
0:14:57	ちょっと勘違いしてる場所もあって、集約が変わりましたので、そこでの議論がまだちょっとすいません、審査会合資料作るだけで、またそのところの3のところ、
0:15:07	ちょっとちょっと変わってきてるとかそう。
0:15:11	やったらな、減衰減衰を合わせると大体見えてるんですけども、がんのところをどうまとめていくかというのが、ちょっとまだ見えて、
0:15:20	私には見えてないんですね。
0:15:22	ごめんなさい、アノコサクです。それを、③で見えなきゃいけない。④じゃない。
0:15:28	今年4万3のところ、原電の表田丸さんから見えなくてもいいですか。丸さんは見えるようにこうしますっていうことのレベルだと私は思ったんだけど、なんですけど。いや、それは、
0:15:43	一つ、
0:15:47	やってるとか、前主かっていうと、
0:15:51	多分ある。
0:15:52	がんをどう求めるかというところが、④最後答えが、
0:15:57	もうそのために、
0:15:58	必要な③が出てくるんでこれ、
0:16:01	日本がキムラと3の、綺麗なこと言えない。
0:16:05	ニワも決まっている。これはもう、うん。4、4のところ、
0:16:11	プランナー、それで④がふらふらしてるのはわかるんです。はい。だけど、③でどこまでを明確にするのかは、まちまちだとするとですよ。
0:16:23	より一層まちまちでいいから、1回出して、どういう形で、
0:16:29	フェーズを分けて話をしていくかっていうのを早期にやらないと、
0:16:34	また今回みたいに、ぎりぎりまでなんか認識がずれて、はい。
0:16:38	ということになるので、②ダムの時間をとかじゃなくて、③の骨格だけでも、
0:16:45	要請というのを示して、
0:16:48	はい。やっていってもらえるといいかなと。わかりました。それだったらすぐできるでしょう。

0:16:54	2月16日はもう0データシロエグチとカウントしてますので、その前にこの辺のところを少し話させてもらって、そこからといった指摘はしていただきたいので、前倒しの前倒しが図れるように、
0:17:08	前から言いました。はい。はい。
0:17:13	日本は時間かかる。
0:17:19	丸さん、まだどうしようかな、こんな
0:17:23	もう1個に絞ることもできずに、
0:17:28	④だっていうね。
0:17:31	イメージもあるんですが、あとはその理由づけだけの話で、何か計算だと、
0:17:38	分析に時間がかかるっていうわけではないでしょうから、そういう数字。
0:17:44	思います。どうも、内野さん。
0:17:47	おっしゃる通りで、もうD、ちょっと細かい話するとBCはBCDをこう決まってる。
0:17:53	イメージは、多分共通も出てくるんだと。
0:17:57	ちょっと、のまとめ方をどうしたかなと思ってるんで、の難波のところ、
0:18:02	そこちょっと内部、まだ議論ができていないのでそこで早急にして骨だけ持ってくるってのはできると
0:18:08	言われました。
0:18:14	はい。
0:18:21	丸井。
0:18:22	②のa、
0:18:24	②野瀬0がいいのはもう決まって決まってる。
0:18:28	だとするとそれはそのまんまあまりさんに行っちゃうんじゃない。
0:18:32	また、③はそれを、④、④にどうなるか。うん。
0:18:38	10個でいくのか、その報道を見て少しまとめるのかというところが、事務、我々は決まってない。
0:18:46	今、清町勝今井1012グループのトモダ8ぐらいになって増えて12名、
0:18:53	自重、
0:18:58	そのまま1010のままずっと走っていくのか。
0:19:02	もう1回、もう1個1回その意味があるのか、そこなんです
0:19:08	議論管理官に比べてその意味のないことに時間費やしても仕方がないという指摘を受けてますので、
0:19:18	それにしたって、別に検討するわけじゃない。
0:19:24	よろしいですか。えっとですね、
0:19:27	がんだけだったのを、湧水を、

0:19:31	この設計でどう扱うかっていうのを、これ④決めるんやったら決めてい かなくちゃいけないって、今データの集約のところまでやりましたけども 集約したデータに基づいて、
0:19:42	セキに使うものを決めていく検討を、この 234 の間の、でやっていかなく てはいけないんですけれども、ちょっと我々今まで
0:19:54	②の集約を、ある意味、西来オオヒガシの資産グループのものが、末日 というような頭のつくりにて、富井さんの検討の中で考えてました。
0:20:08	ちょっとそこんところ今回衛藤データ契約の或いは変わってますんでち よつとこれを元に、横手口まで見てですねちよつとするかというのをよく 検討させていただかないといけないというところがまだ頭の整理ができ ないところでございます。
0:20:22	コサクですけどそれは近畿の方からお話をした通り、そんな議論が必要 ないんですよ、あまり意味がない。
0:20:31	as-isの軽水を、
0:20:34	ページに出したのはあまり意味がないよう理解してました。2 から 4 に 行くときに、そのもとに設計をこういうふうに、いろいろ施策です。だから こそ、だから配線はそれぞれグループ分けが違ったら、それぞれーその 場所でのas-isっていうのは、多少なりとも違いが出てくる。はい。
0:20:52	いうのはわかりますけど、それは、ある程度の整理をすればいいだけ で、そこ掛けなゴールじゃないんだったら、うん。
0:21:00	こういうのは最終的にモデル化をするときにどう入力するかということ であって、その際に、どういうロジックで数値設定するのかという考えをま とめるだけ。
0:21:13	で、そこにそんなに、
0:21:16	その手前のas-isのグループ化の数が影響すると思います。
0:21:21	まず一番もうおっしゃる通り、安全問題になっちゃって、
0:21:25	その次を、我々に大きな影響をかけてない。
0:21:28	ちょっと我々の考え間違っていたので、そこを説明した。うん。
0:21:34	コサクですけど。
0:21:35	それも、
0:21:37	我々は悩む必要全くないと思ってどんどん悩んでるっていうことがわか らないので、早く悩みを出して、
0:21:43	何やってんのっていうことにしかならない。
0:21:47	多分一生懸命考えて戻ってくるように、こういうところ大部分でという話 をさ、
0:21:52	すいません。ありがとうございます。ちょっと私が小峰長官ですけど、熊 本さんの言ってるas-isの件について、

0:22:00	リニアの一本一本線、そういうイメージ。それとも何本ある。
0:22:04	音声で、今ちょっとまだ我々頭のあれですけども、今の整理であれば、今集約してる15ループの線が十分に出てくるような、
0:22:16	今形になるのかな、タダウチグループに対して1本のイメージ。
0:22:21	そうですね。はい。ということになるのかなという。それが0になります。丸さん。
0:22:27	から④に、
0:22:31	ニュアンス線をまた見て計算するんですよ。
0:22:35	そう。そこに、はい。何の時間がかかる。よろしいですか。すごいです。
0:22:44	すいません。とですね、
0:22:46	一本線を設定し、
0:22:48	今ですね、これ一本の線っていうのがas-isミイ十、
0:22:54	いうことをあれは普通しなくちゃいけない。
0:22:59	そうなんですけどもその値をなんぼにするかっていうのはas-isに対して、設計としてある程度保守性を持つてるものであるということです。そう。数字的な、すごい回数、
0:23:11	時間のかかる計算と何か求めるとか、ロジックによって、どこだっていう断定するのか、それはどっちでやるとして、ですね両方といいますか解析で応答のIOから増えるということをやらないといけないというふうに入らして、
0:23:30	それで千田さんから言っちゃってるということ。
0:23:34	要は斜めに引いたり宮野をどう出して、
0:23:38	5000何本かコサクですけど、わかります。はい。ありがたいことはわかります。
0:23:45	何でそんなことやるのって。
0:23:47	そこでやった後に質問を受け、
0:23:50	ということになっていいですか。いや、よくないんですよ。報告、議論できるか。はい。
0:24:01	それ、多分佐伯ナガヌマ。
0:24:03	いや、こういう条件でやって比較して判断しますっていうやつを多分やるべきだったから、
0:24:11	また同じ思想な気がしました。
0:24:14	はい。その前に、
0:24:19	規制庁。
0:24:20	安心感。
0:24:22	最後に向けてのカネオリアノじゃ来ちゃうわけですけども、こんなスケジュール2自治会の最後の、

0:24:31	1、
0:24:32	最近関係ないと思ったので、次回理事会 2 月の末で、
0:24:38	今回ですね 2 月 5 日の対応に対して、1 月 18 日、1 週間以上前に対応して、ショウガン 1 週間程度はやっぱりナリタツツミとなると、2 月 16 日になるんですね。
0:24:51	で、今の話、べら試合が 2 月 16 日なってますけども、もう出らんと同時に、介護資料を出している。先ほど瀬戸さん言われたような、骨のところはもう 2 月 16 日の段階ではもう絶対ということで、
0:25:07	多分その前の時にも打ち合わせが今の話です。はい。必要だという理解してますんで、そういった最近、2 週間前には会合資料の、
0:25:18	次回の会合資料は出してください。
0:25:23	現状でございます。はい。医師会承知いたしました。
0:25:27	ハバサキさんのアップされる可能性キタニイワタノダとちょっと少し余裕を持った感じに受け取られちゃうかもしれないので、多分、検討するだけだと思うんですけど。
0:25:38	16 はもうある程度方向性が、
0:25:42	ですから、理解を共有した状況で資料の形にするってということだから、先ほど言ったような形は 5 日の週の早めに提示いただいてその週のうちに、
0:25:53	ヒアリングをするというぐらいじゃないと、今の図 16 なりに、
0:25:59	方向性を持ったものを出してくるということにはならないと思うんです。
0:26:10	補足です。あと、ちょっと先に進んでるんですけど、2 ポツという、2 ポツ、
0:26:16	の関係でっていうことで、
0:26:18	お話すると、それでうちの方で言う③④とかっていうところまでいってるんで、2 ポツの表現で言えば、
0:26:29	自治会、
0:26:31	2 県東方。
0:26:36	入力地震動の算定結果、
0:26:40	が出て、
0:26:42	その先の、どう適用していくのかっていう検討状況
0:26:49	ということに、
0:26:51	なるんですけど、この検討状況っていうのは、
0:26:54	メールの話であって、それを踏まえたその次のステップっていうのをどう考えてるんでしょう。
0:27:01	例年のことです。

0:27:04	ここはそうですね基本ジンボと野瀬県的な考え方自体は、ここの議事概 ですね。
0:27:13	ここで投資することを考えていって、どのレベルかっていうことなんです けれども、具体的にですね目標一番ホテルがここ、唐木。
0:27:24	新名ってあの状態であるということ前提なんですけれども、これをです ね、相手に申しますと従前の設計しているもの、
0:27:35	の検査がありますけれどもそちらを活用できるものができないものって いうような整理が我々の中にも必要かなというふうには思ってます。そう いうふうな考え方をご提示するのか、この断面出て
0:27:47	具体的にどういうふうに、衛藤施設にですね、こういう場合はこういうふ うな判断するといったような部隊ですね、とともにもうこのウタできれば、
0:27:58	この設備はこっちにします懇切なことにしますぐらいのところまで、最終 的にはご提示しないといけないかなとちょっと考え方を、ご審議いた だいた後にはなると思いますが、ちょっとそんなことを考えています。
0:28:11	コサクです。それは全体を今説明いただいたような気がして、この自治 会にどこまでっていう、
0:28:19	今の、
0:28:21	説明の最後でいうと、マルバツまではつけないけどマルバツがもうつけ られるような考え方まで、
0:28:30	示していうことで、理想はそうです、そう、そうなんすけど、もう大分足 りないという認識を持っておりまして、
0:28:37	3月エンドウの入力地震動の結果ここは出したいなと思って次の動的を していくから、
0:28:44	ほれだけで終わるのか、もう少し議論が入るかという深沢ちょっと。
0:28:50	今んところはっきり言うて見えてない。
0:28:52	当然、
0:28:55	古作です。なんで見通せないかっていうのは、
0:29:00	結果を見てから判断したいと思ってるからでしょうか。
0:29:04	言うより、
0:29:06	そこへ行くまで
0:29:08	前の基本地盤モデル作るまでのヒアリングヒアリングの回数とか、
0:29:12	それを考えるアップじゃないかな。
0:29:15	いや、
0:29:17	考え方をまとめるぐらいだったら別にけっかーと減ってなくても並行して たって話ができて、はい。
0:29:26	ヒアリングできる。そういう意味では先ほどちょっと骨を相談させていた だけたときに、

0:29:34	基本地盤作る堀江を相談する以降ですね、次のところの骨の話を個別に、
0:29:41	考え方ですけど、できると思いますので、そういうところ、やっぱり大きく先まで見通してないというか、ちょっと局職種で我々考え過ぎてるところなんで、
0:29:50	そこまで、
0:29:52	できたらそういう話も、その2月5日の週に、だから、触りだけでもやっていって、
0:29:58	つけていけばここはできるかなというふうに考えていました。
0:30:03	はい。
0:30:04	そうですねその上で結果見て判断したいっていうのがあってあるんであればそう、そういう。
0:30:10	ことも言っていたらいいと思いますし、
0:30:14	ない結果というよりは、その考え方を、
0:30:18	うん。グラフがしてるという感じですね我々の考えがちゃんとこれ、やる前に議論をして、それからやった方がいいなっていうのは、全く一緒の話だと思うんですよ。
0:30:30	基本地盤モデルの話です。その展開の話。
0:30:33	1度は段階をご説明した後に、
0:30:36	なるほど。
0:30:37	でもみたいな、今、認識しました。
0:30:41	はい、わかりました。
0:30:45	というのも、活動内容が明確にならないと、前から言っているコウてどうできるのかっていうことの実現可能性のあるものが示されない。
0:30:57	ですので、
0:30:58	その積み上げに必要な、
0:31:04	作業ってなあにっていうのは、認識を合わせて必要があると思います。
0:31:11	それで、
0:31:12	ここまでの考えは出ている。
0:31:17	その次のステップ。
0:31:19	あと実際の
0:31:21	再解析が必要かいいのかというところの、
0:31:25	名簿、
0:31:27	ええ。
0:31:28	その再解析が必要といったものの解析結果を、2-2 解析
0:31:35	評価の中で説明していくと。

0:31:39	ということになりますけど、結果はそこで説明なんですけどマルバツについても、2-2の中で、
0:31:47	はい。
0:31:50	はい。
0:31:53	一方で、
0:31:55	2-2の解析評価等の説明を、
0:31:59	建物と機器はどうするかっていうと、機器が先行するアベ建物が先行するってことです。
0:32:05	よね。
0:32:07	そうですね。はい。
0:32:10	その時に、月のマルバツっていうのは、セトそれともその月の方で、
0:32:16	うん。
0:32:19	考えます。
0:32:21	ズーはCケース、ただ相互に影響する部分があるんだとセットでやるっていう考えかと思えますけど、コサクです。その辺りも、次
0:32:33	自治会の考え方検討というところの概要をお話しいただく際に、そのあたりまで含めて、お話ができればいい。
0:33:06	規制庁サービスまず、
0:33:13	解析。
0:33:13	はい。
0:33:20	終わるんです。
0:33:22	スズキが終わってないですもんね自治会も一応入れておりました。
0:33:32	はい。
0:33:33	少なくとも先ほど評価パターン123と分けましたと言った時に、
0:33:38	評価パターン1ニワ全体今までやりとりして、
0:33:43	含めて、こういう解析評価のやり方だったり前提条件はこうでということ。
0:33:48	の、結果まで含めて全体に流して説明できるようにするという、
0:33:53	横畑(3)の分、耐震絡みのところは、先ほど申し上げ
0:33:59	グローボックスだけ取ったとしても、
0:34:03	少なくとも現状のステータスどこまで整理ができて、どういう形になってるかっていうところは、自治会で説明をする。
0:34:12	そこでまだ、
0:34:13	足りてないところにはこういうところがまだ十分じゃないですね、やりとりは少なくとも現状把握としてやる必要がある。
0:34:20	と言ってもまだ、先ほど申し上げた自治会に向けてグローボックス全体の設計方針の大枠前で半分しかまだ整理できてないと思うので、



0:34:30	後半部分の整理を理事会に向けて、並行してやりながら、
0:34:36	最終的には、
0:34:39	連成モデルだったりその条件設定だったり、
0:34:42	評価の結果であったりというところの一連の流れは、人事課に説明をさしていただくと。
0:34:50	いうことでつなげられないかなと。
0:34:52	何もしないというわけじゃなくて括弧 3 も一応前半部分も含めて一応説明はすると。
0:35:00	そうですね。グループ水害もあるのはそれは 11 時間はいい。
0:35:11	薄井。
0:35:13	自治会の(3)の説明SP。
0:35:18	全体の枠は前回ご説明したんで、全体は流して説明するんですけど、おそらく今までやりとりしてここがわからんことがないこれが足りないってところの、
0:35:29	前、前半の、どちらかという資料 4 の入口資料 3 に近い部分だけが今、理事会に、ある程度考え方が整理できて説明できる。
0:35:39	評価条件の設定、いわゆる前回、いろいろあったうちが答えしか書いてなかった。
0:35:46	これは、こういう機能要求があるから、モデルに組みますよね。これはこういう機能要求などで重量で加算しておりますっていうようなその考え方も含めた条件設定のところのこの説明は、
0:35:59	理事会、
0:36:01	説明ができるかなというところで、切り分けがしたかったと、次のページの 2-2 はいい。
0:36:10	星三つ目のですね、ところに、一応最初の 5 行は、G切り換えに向けて、それ以降は自治会単位でって書いてあるから
0:36:21	そこで、
0:36:22	話をしたらいいんだと思いますけど、
0:36:26	これで見てもうグローブボックス周辺であっても、
0:36:32	自治会ではできなくて自治会で対応したいっていうことがあって、
0:36:38	はい。
0:36:44	は迷っていて、
0:36:49	何日間、
0:36:54	何て言えばいいんでしょう、まず
0:37:00	こないだのフジキさんの回答の中にもあった通り、もう
0:37:05	一つは例えば、連成モデルで来るほどありきで、
0:37:08	多分、ある時期から、

0:37:10	話が始まっていて、なぜかそもそもその行動設計考えた上でこうしないといけないんだよねみたいな考え方の整理をちゃんとまずしないと、
0:37:20	その答えにならないってところの受整理と、あとはこれまであまりちゃんと説明してこなかった内装機器とグローブボックスの関係みためのちゃんとパターン分けして説明をしっかりとしないと、
0:37:31	それ、前おっしゃっていただいたようにグローブボックスの中に入ってる内装機器でも5になってる架台の上にぽっと乗ってるような機器であれば、試験系に押し付けアマヤ。
0:37:43	展開してやろうともできるわけですよ。ただ、
0:37:46	パターンとして見れば、天井にはサポートついている横にもサポートついているみたいな、
0:37:53	グローボックスの艦隊の底盤ってやっぱ、あとフレームですねそういうところにサポート取っちゃってるやつは結局、
0:38:00	連動して動く。
0:38:01	なので、それぞれの診療が、非常に複雑になるんで連成モデルとかなきゃいけないって多分そういう構造だということをもっとちゃんと説明しないと、なぜこのやり方なんですかみたいに行き着かないとまず前半の説明を
0:38:14	しっかりっていう、それも、なんでそこにサポートってのはっていうMiFコンセプトがあって、はい。
0:38:23	それをしっかりとか抜けがないってことは確かに大事だと思うんですけど。はい。
0:38:29	それは大事で、
0:38:31	これまでちゃんとやってなかったから時間がたてばそうですね。というのは、
0:38:35	それはわからないけど、でもそれは次回にやるんでしょう。
0:38:42	次回またIVASで自治会になっちゃうのっていう説明ではなくて、はい。
0:38:48	実家自治会マターのやつを見ると、はい。
0:38:53	堆積し直しが発生するかもしれないみたいなことがあって、
0:38:57	それを着手しなくて大丈夫っていう、
0:39:02	ふうにも思うんですけど。
0:39:03	考えています。
0:39:11	はい、乳井西浦でございます。はい。
0:39:15	そうですね。
0:39:17	解析条件の設計とか配管との関係とかも含めて、
0:39:22	実際の評価に影響するように言ったところは確かにあって、
0:39:26	ちょっとそこははい、おっしゃっていただけることもわかるので、

0:39:31	全体のシナリオをどうするのかもちょっと考えますはい。はい。
0:39:35	次、自治会マターと言っているところの、
0:39:39	累計だったり連載だったりっていつてところの考えに、
0:39:44	理事会時次回マターのものも、
0:39:48	意識して、全体の考えっていうのを、うん。
0:39:52	整理をしておくんっていうことがないといけないんだと思うんですね。 はい。
0:39:56	それ、
0:39:57	それで成り立つものについて詳細はちょっとその方、
0:40:02	それに沿った形でまとめますっていうことなのかな。
0:40:06	はい、乳井電車でございます。まず、もう一度、整理を、
0:40:10	はい。
0:40:16	終わりましたけど、
0:40:18	その5日がこういうもんだとなっていてっていうところがやっぱり肝で、 時間もおんなじ。
0:40:25	既認可、設計をする。
0:40:28	ヒガシ説明します。
0:40:32	おんなじようなことになっちゃってまして、っていうのは、ミツイ知事会で やっぱりですよ。
0:40:39	何かその、
0:40:40	時事海田としても、
0:40:44	結構クリティカルな話と、水平2方向みたいな話は、追加評価。はい。
0:40:50	モデリングの場合は、
0:40:52	この辺は変わってきちゃうと、結構根っここのところ
0:40:56	はい。
0:40:57	その辺の優先順位はありますか、こっちが考えてます。
0:41:00	はい。考えです。はい。
0:41:04	はい、ありがとうございます。新海。
0:41:15	高坂です。
0:41:21	室さんまたは脳そのSAが入ってくる前に、
0:41:26	とりあえず片付けられるものを片付けていって、
0:41:29	いう。
0:41:32	ところのイメージがちょっと十分わききれてなかったんで、説明はいただいた ところではあるんですけどすみません。
0:41:39	もう一度確認させていただいていいですか。
0:41:44	日本原燃の首藤です。
0:41:46	そういった意味では、

0:41:49	SD
0:41:51	の前に、
0:41:52	説明するという説明が今こうになってないので、
0:41:57	少なくともですね、11月、2、1度提出させていただいて、
0:42:03	12月にヒアリングがあったと。
0:42:05	いろいろコメントいただいてる。
0:42:06	よく認識しておりますて、
0:42:09	それに対する対応方針、
0:42:12	をですね、ご説明する場があるかなというふうに、
0:42:17	思います。ちょっとここには書いてないんですけども、ちょっとそこ、それをですね、
0:42:24	提出前じゃないといけないと思いますんで、ちょっとその説明をする計画をちょっと立てたいというふうに考えます。
0:42:32	はい。
0:42:33	わかりました。それと、
0:42:35	この資料だと2の、
0:42:38	3ポツ1の中の2の一井の説明の1、
0:42:45	第1最後のレ点で、
0:42:48	第1回位。
0:42:51	上のヒアリング、2回目のヒアリングって、
0:42:54	入ってた。
0:43:00	そう。
0:43:01	その上のレ点で書いてあったTBSへの、
0:43:05	たものは、これ別途進んで、どちらかというと最後のレ点の2回目のヒアリングっていうところにSAが入ってくるっていうふうに私は、
0:43:15	意識してたんですけど。
0:43:17	そうではなかった。
0:43:19	1回目もSEが入ると思ってこれで店ごとにシリーズだと思って、
0:43:25	英語における就労です。
0:43:27	はい。認識として今おっしゃっていただいて、
0:43:30	してですね、1回目のヒアリングというのも後ろのカレンダーにちょっと提出後にちょっと日付入れさしていただいてましてですね。
0:43:39	2月下旬ということで、
0:43:41	2月の26で、ちょっとこれまた、
0:43:47	調整いるかと思うんですけども、
0:43:48	26日の月曜日に、ここで第1回目のヒアリングというふうに入ってるものを入れようとしてましてですね。

0:43:55	これも提出後の値、形になりますので、
0:44:00	1 回目のヒアリングというのをこの日において、Sd-D
0:44:04	含めた形での御説明かなというふうに考えていたんですけども、
0:44:09	それよりもっと前にですね、
0:44:13	少なくとも前回いただいているコメントに対してどう対応するのかといったところの説明要るというふうに、改めてちょっと認識いたしましたので、これによるもの、前の段階でですね、
0:44:24	説明するように計画したいと。
0:44:28	はい。
0:44:29	浅田ですよろしくお願いします。
0:44:37	SDBはこの後、
0:44:38	次の資料。
0:44:41	はい。
0:44:51	2-2 の関係については、先ほど評価パターン 3 の話はできたと。
0:44:59	で、
0:45:00	(1)(2)っちゅう方は、
0:45:04	今日の資料提出でヨウ化してもう一段、
0:45:14	そのあたりは、ここまで計画されているのであれですけど、何か確認、現段階に、
0:45:29	一応、前回のヒアリングを踏まえて、評価パターン(1)(2)、どちらかという(1)の方は条件設定、ちゃんと構造を踏まえて適切になっていうか、上振れのリスクみたいのをちゃんと考えてますかみたいな。
0:45:43	話だったりっていうところと、
0:45:45	あとは風量設定はやはり負圧だけを取り出して説明したんで、全体の因子がどうなってるっていう全体の構成ですねっていうのも含めて説明をさせていただこうということで今修正をしています。
0:45:56	評価パターン 2 の方の、搬送の容量の話なんですけど、あれはちょっと、
0:46:03	資料 3 側も含めて全体の設計をちゃんと整理をするということと、
0:46:08	個別補足でハードルって出したんですけどこれ、どちらかというと、1 ポツの対象が何ですか、2-1 の構造線落下防止の設計どうしますか、2-2 の容量をどうしますかみたいなやつがざっとまとめてやっちゃってるので、これは 1 回、
0:46:22	今回全部分解して、1 ポツの話、2-1 の話、2-2 の話ってそれがちゃんと連動して繋がっているストーリーになってるような整理をして、
0:46:33	出し直させていただこうというのが今日出す資料になってます。はい。

0:46:37	はい。補足です。今聞こうと思ったんですけどその補足の製造するのとかっていうのは、はい。今ので多少考え押せ再整理して対応されたってということだと思うんですけど。
0:46:52	そうする等、他も含めていろいろとあって、はい。
0:46:57	それをどういうふうの方針変更して対応してるかっていうの、お話をしていただけるかというのは、どうなるんですか。うん。
0:47:11	やってこうなってる状態を考えるとなかなか
0:47:14	全体含めてどうするか、ただ前からご説明、ご質問いただいたように個別補足の形でどういう考え方で作るんですかっていうところをちゃんと整理をしないといけないとっていて、
0:47:25	今回資料行動設計システム設計みたいな話と、評価の話をちゃんと考えてやりましょうかというその前提になるような、耐震高いクラスの設備がどんだけありますかみたいな、1ポツに関係するところってのはちゃんと整理をして、
0:47:38	それぞれ必要な基本、補足説明が何があってということと、
0:47:43	また今回、代表でまず評価みたいなものを説明しようって言ったときに、それが代表性があるのかみたいな話と、代表以外の話を一体どうなってるみたいな話っていう。
0:47:53	補足を考えなきゃいけないみたいな話というのと、全体に説明しなきゃいけない枠をちゃんと整理をして、それが、
0:48:01	同じような考え方で、それぞれの設計方針にぶら下がってますよねっていうところの、
0:48:07	次に1度させていただかないと、
0:48:09	ちょっと指示をするにしても、作成者がもう何の法則作っていいかわかんないっていう状態になってオオウチいそうな気もするので、
0:48:15	そこは全体考え方を整理を、今回のMOXでやってきた経験を踏まえて整理をさせていただきます。はい。
0:48:24	補足です。
0:48:25	その前で言うと、
0:48:27	こうやっていけば言えて完成形を作った上でできる。
0:48:33	それでそれを水平展開するための、整理をして、次につなげるということだと理解しましたので、とりあえず今日の資料は
0:48:44	全、全部っていうか、第1ステップの
0:48:47	いうことで理解をしました。で、それ次の展開に向けてっていうこと言えば、
0:48:56	流してないですけど、共通09なのか、なんだとか、反映する資料があると思いますし、それを受けて展開するのは00資料だと思った。

0:49:07	共通 10 年の中でも資料、
0:49:10	ということがあると思いますので、その
0:49:14	進め方っていうのはもうところですね、また聞かせていただき
0:49:21	はい。次に、
0:49:23	はい。個別補足なんていうのをどう作っていくかはおっしゃっていただい たり、共通 06 に大枠の考え方が書いてある。
0:49:30	あとは 0-別紙 5 だったり展開して、
0:49:34	今回共通の資料 2 で、設計方針、基本設計をして紐づけて、何に補足 がいるかっていうやって整理してますので、全体の考え方をちゃんと整 理をしてそこに紐付けていくと。
0:49:45	ということ、作業者が採用できるようなプロセスをちょっと整理しておきま す。
0:49:59	コサクです。だいたい話してきたんですけど、
0:50:03	説明の資料を見ると、そのあと望月オオモト市長は、
0:50:10	ページは変更ない。
0:50:13	はい。
0:50:15	5 ページは、これもほぼ、
0:50:19	な案。
0:50:20	案件が何かっていうのをついていただいているってということで大分見や すくはなったんですけど、
0:50:26	字軸をそろえたりとかっていうところはそんなにまだ検討が進んでなさそ うなので、
0:50:35	それもやっぱりあれですよね言われたように再処理の方の評価。
0:50:38	が入れていかないと、やっぱりどう繋がって本当にこの順番にこのタイミ ングでいいのかっていうのがわからないんですけど。
0:50:48	それを次回出していただける。
0:50:52	はい。
0:50:56	これで 4 回目ください。
0:51:01	はい。
0:51:06	越冬
0:51:07	葛西の方は言われたところろう、
0:51:11	ちゃんと整理してその先行でできるかみたいなものは、その際に見せて もらって、
0:51:20	確認をして疑義のあるところは話をしてということでもいいかなとは、
0:51:25	思うんですけど。
0:51:28	重大事項。
0:51:30	の部分が、

0:51:35	これがこれもあれですよ、前回も前々回お話あったと思いますけど、
0:51:41	説明グループ 5 って書いてあると差分でよさそうに見えるけど、
0:51:45	いやグループ 1 にいるでしょうみたいな話があった。
0:51:48	ですよ。
0:51:50	そのあたりは、はい。
0:51:53	今野。はい。与儀西田でございます。
0:51:57	そうですね。
0:51:59	ちょっと整理を求めますそれをブレイクして、グループごとと言ってるけどグループ 1 で説明する内容と、グループで結局変わりませんよねグループでやったところ、
0:52:09	という話との関係もあるので、そこをちょっとブレイクしていきます。
0:52:14	特に、ここに書いていくと、
0:52:19	右側の括弧の枠がちっちゃくて 1.2 イセしか絡んでないような気がしますけど、はい説明を引用してる配管ダクトと、灰吹のフレームとかフィルターのフレームとかその会計だけが、
0:52:32	兼用設備で今回取り出しの範囲なので、その範囲と、要求する機能っていうのが何かということと、今回の説明グループ 1 の範囲説明グループ 5 で何やるのかっていうとちょっと整理をして、
0:52:45	グループさんの再処理とのリンクはどうなのかというところは、
0:52:48	整理をさせていただきます。はい。
0:52:54	はい。
0:52:55	まずはやはりそこら辺の整理がつかないと、5 ページのところはどう進められるかと。
0:53:15	郡。
0:53:18	この資料は、前回も確認させてもらったように、題名が社内作成。
0:53:25	いや、何か日本語的にもちょっと読めないんですけど、ええと、
0:53:30	社内の作業をどう進めるかということであって、ヒアリングではありませんと。
0:53:37	ということなんですけど、一番上の蓋通わ三角でヒアリング示されて、はい。
0:53:44	やはり、
0:53:46	その視点もナイトウ、最終的にまとめるのはいつっていうのが、
0:53:52	出てこないでしょうから、
0:53:54	その点も
0:53:57	入れていけるようにしていただければなと思います。
0:54:01	それで言うと、
0:54:05	直近ではそのMOXグループ 1、



0:54:09	なお、
0:54:11	進め方っていうフェーズは先ほども自治会があるとかっていう話がありましたから、
0:54:17	少しちゃんと書いていただいた方がいいかなと。
0:54:21	思いますし、
0:54:23	水平展開、
0:54:26	いったところの検討も必要なんで、そのタイムラグというかですね、いうのをどう考えて展開していくんだっていうのも見える。
0:54:35	した方がいいだろうと、今の話で。
0:54:42	はい、与儀西原でございます。
0:54:45	しました。はい。イケダ作成の進め方と言えば、
0:54:49	理事会で自治会と理事会が審査会合分かれる時点、多分パートばかりですっていうところも含めて、はい。
0:54:56	あとはそうですね再処理側の評価との連動が示せればどこにフィードバックかけなきゃいけないかも見えて、
0:55:04	明日はい。
0:55:05	はい。
0:55:06	そうするとですね、ゴコウの再処理廃棄物管理のグループ1号炉クノウチヤマ前になってたりするんですけど、
0:55:18	同様に、MOXの方もぐちゃまぜになってたりしますが、
0:55:26	MOXのグループ2であれば、
0:55:31	島弧0ワーそうだなあ。
0:55:34	十分に、
0:55:37	緑小。
0:55:39	これが、
0:55:42	再処理の方の、
0:55:45	話とどう繋がってくるのかなと思って、
0:55:48	こういうものは、先行してやってもいいんでしょうけど、全体像が見えた上で、ボックスは分割申請の、この海田からここまででいいですよと。
0:56:00	いうのがあって、再処理は終わってなくても、
0:56:03	草終わっていい。
0:56:06	いう整理がつかないでしょうから。はい。
0:56:10	枠の話ぐらいはやってることだと思うので、その関係性が見えるよう、
0:56:17	必要。
0:56:19	はい、与儀西部でございます。
0:56:22	はい。

0:56:24	そうですね。全体像。
0:56:26	うん。
0:56:29	資料の段階で基本設計方針全部並んで、これが全体枠です。資料、
0:56:34	3に行くときには資料2の段階でも、第2回申請の対象と、
0:56:38	第3回と、できるだけっていうのは明確にしないと。
0:56:41	それが最初、どういう関係になるのかっていうのも含めて、
0:56:45	はい。お示しできるように整理をしていきます。はい。
0:56:48	はい。
0:56:49	第1回申請の時には、基本設計方針レベルで話しましたが、点ぶ一書類も含め、話ができる段階に最初に、
0:57:00	一式っていう形になって、
0:57:03	前、前々回じゃないんだ。
0:57:06	少し前に、ミツイの方でもですね、そのあたりの仕分けをどうするのか、 っていうことが話をしてあったと思いますから、
0:57:16	2人のグループさんの方です。
0:57:18	同様に、
0:57:21	はい、人間です。
0:57:23	承知いたしました。
0:57:25	こっちの方は、最終的な、
0:57:28	先行するように、
0:57:33	それには早めに潰し込んだほうがいい。
0:57:35	はい。
0:57:40	何か。
0:57:41	溢水量。
0:57:43	その件、今日資料が、
0:57:57	グループ耐震一部、
0:58:20	すべての資料、
0:58:31	認識から使ってるとか、
0:58:37	代表的なものも、
0:58:39	先行で、
0:58:42	中身を固めた上で、
0:58:50	耐震チーム考えてる。
0:58:56	構造設計等のパートだけ。
0:59:03	出していない。
0:59:07	今、何を一部先行させようと。
0:59:11	次、次。

0:59:15	セットで、
0:59:17	するようにしたいなと思います。
0:59:24	無線もやってるのかなと。
0:59:30	やってるんですけど、固まってない。固め切れてないっていうのがあります。
0:59:35	それは、
0:59:37	何を足すかを固まってない。
0:59:40	黙ってなくて困ってんだって話。
0:59:43	そこはさておきとにかく進めている。その時間が、
0:59:50	必要なんだっていう、いうんだったら、
0:59:52	違う。
0:59:53	2月末まで、
1:00:00	一部先行する代表機器っていうのですね、耐震
1:00:06	チームの観点からいくと、
1:00:08	グループに入ってるすべての機器から、
1:00:12	すべての機器を並べて、
1:00:14	どういう解析をしてるのか、そのモデルの作り方を整理してですね。
1:00:19	そうなんだから、論点にする。
1:00:22	一つ、耐震の観点で選んでるっていうのが一つ耐震チームです。
1:00:27	これ、グループ2の説明でもあるので、少し溢水の、今後、対象設備とかですね、
1:00:34	溢水の観点を入れて、その溢水と耐震をこう入れてですね。
1:00:40	適切な代表を選べるんじゃないかっていうのを今ちょっと社内で、
1:00:44	両方から検討してるって何でしょう。
1:00:50	古作ですけど、ちょっと忘れちゃいましたけど、
1:00:53	そういう表を作ってナカ
1:00:58	アノ耐震のやつですよ。累計なんか何らかの耐震記念で老人、
1:01:04	大丈夫。
1:01:05	いや、
1:01:06	いろんな要求事項、協議説明項目の0時があり、その中で代表性。
1:01:15	としての視点が書いてあって、
1:01:17	その0が一番多いの代表にしますって、まさにそう出たはずで、
1:01:23	耐震、そん中です。
1:01:29	耐震基準0ババのところは、
1:01:31	に入ってます。はい。
1:01:34	いいですか。

1:01:38	やりやいいじゃんとかやっているんでしょっていう感じはするんですけど、
1:01:47	ぜひ、
1:01:48	なんだろう、グルーピングはそれでできると思うんですよね。そうすると、
1:01:54	同じグループ、丸付けが同じっていうものが一何十個もな、並んでいてそのうちどれっていう。
1:02:02	だけじゃないかなっていう気がするので、
1:02:07	別にどれじゃないっていう気もしますし、なるべく論点になりそうな、
1:02:15	音が厳しい。
1:02:17	たり、重要な機器だったり、
1:02:20	いうことであって、
1:02:24	場合によっては、別に一つあって二つ並べたって別に構わない。
1:02:29	とすれば、双方を持ったものは作っちゃえばいいじゃんっていう。
1:02:34	あるかもしれない。
1:02:38	そのあたりは、
1:02:40	作業して、
1:02:42	調整すれば、
1:02:44	はい。
1:02:48	実作業、そのマトリックス進んでまして、
1:02:52	お聞きを並べて、マトリックス作る
1:02:55	反射としてやってるんです。
1:02:58	被水のグループには、代表設備が何かみたいな。
1:03:03	上から重ねて、
1:03:05	しょうかっていう最後詰めが、
1:03:19	アノグループ、
1:03:20	何だろう。
1:03:22	示すべき。
1:03:29	というのは、
1:03:31	あとその悩みは、
1:03:34	それでいうと、
1:03:36	さっき言ったその耐震基準津波みたいな整理で、経過して何かこう、丸が言った大井やつじゃそういう話もしてたんで、それはそれで生かすんだったらそれで、
1:03:47	何だか組んでいてくれて、
1:03:51	プルボックスで何か作っちゃって欲しいっていうのがあれば、もう少ないはずで、
1:03:56	同じようにつくればいいんじゃない気がする。

1:04:00	デマチ
1:04:02	悩み感が、
1:04:03	イセitパラメダテ町ヤマザワ溢水の代表設備ってまずい。
1:04:09	そう。
1:04:10	参考にするっていう気もするし、
1:04:16	具体的には、
1:04:18	イシイとしながら、
1:04:20	説明する。
1:04:28	ですね、溢水でいうと耐震重要度だけじゃなくて、水源としての評価、
1:04:36	プラスあってっていうところは、
1:04:42	同じ評価なんで説明交換されます。
1:04:45	なのか、ちょっと違うから。
1:04:47	プラスアルファ説明。
1:04:53	テレビなんかでも複数での、資料3で、もう説明済ぐらいいるんです。
1:05:01	湯ノ岳でございます。はい。もし、同じで、考えてます。そもそもSクラスのBCクラスをすべて、はい。
1:05:09	うん。含めてという
1:05:14	網野蓮斗君。
1:05:19	わけじゃないんですけど、
1:05:21	古作です。なんで
1:05:24	説明方針なり長谷評価方法なりとかの説明は、流用できるという、
1:05:31	同じですと言えば良いのだけど、
1:05:34	さすがにターミナルエンドとかそこら辺は、結果ちゃんと示してっていうことになると思うので、そういった点同じですっていうことで、
1:05:43	確認のポイントは絞った上で、書類を提示いただくっていう必要があるかなと。
1:05:49	ふうに思う。
1:06:07	なければ、
1:06:21	大変失礼。
1:06:23	はい、代行は、
1:06:25	実際に入りますんで、はい。
1:06:27	そこも含め、
1:06:28	言えます。はい、どうぞ。
1:06:31	再処理の説明グループさんですね、SAと絡めて、確か、
1:06:37	御説明グループの設定は、
1:06:39	していたと記憶して、

1:06:41	それはあれですね、DBは施設なのかなっていう説明対象じゃないので、どちらかというとSAの方での要求で追加になって、当日、
1:06:53	資料名が、
1:06:55	はい。
1:06:57	あるけども、はい。
1:06:59	あそこはそんなけどもだよ。はい。
1:07:02	うん。
1:07:03	そうそう。
1:07:07	うん。はい。
1:07:11	そうなんですよね。写真はあります。はい。あります。はい、じゃないんだ。
1:07:18	再処理だと、グローボックスの中に受け皿。
1:07:29	はい。はい。
1:07:33	でも違うのは何かアイデアノそれこそ連絡先の中に在庫を入れたから、いるほどですけど、そもそもが、はい。
1:07:40	健康関係も含めて、
1:07:51	来てる。
1:08:01	前回ありがとうございました。これ、今、前回のヒアリングを踏まえて、作業は継続してやっておりますので、
1:08:12	まず、前回1の説明のやりとりを踏まえて、
1:08:18	設計説明分類、あと設計項目の7、並び方は、もともとのルールに従ってまずやりますということで整理していることと後は、
1:08:28	SAで、DBの設計、
1:08:31	基本設計方針ジョイントしていくものは、何がSAとして対象のことを言ってるのかっていうのをまず明確にしましょうという、対象物が何かということとどういう要求をしますかっていうのが、
1:08:42	明確にわかるように整理をしていくということで、
1:08:46	やってます。
1:08:47	プラス、最後の説明グループの考え方で、DBAということとSAで言っていることが同じオオキ、要は達成目標であればそれをジョイントして代表云々の説明をしていく。
1:08:58	ということで、
1:08:59	作業してます。
1:09:01	現状まだ、作業として、
1:09:05	やりながらも、
1:09:08	あれですね、苦労しているというのは、前回お話あった一つは、
1:09:13	7ページ目の、

1:09:17	屋外機器配管というのが、設計説明文の上から三つ目にあってその上の一番トップバッテリーの、
1:09:25	36 条の 23 というところ、これで
1:09:29	前も
1:09:31	位置的分散の話しかしてないよねという話があって、もともとの要求は多様性独立的分散。
1:09:37	ということで、竜巻預けて説明をする場合ってどうしてもDBの設備、あと、可搬の場合は常設の重大事故対処設備等、
1:09:45	限位置的分散を図って、守るという要求だけがどうしても答え出てくるんですけど、とはいえ要求は、多様性独立性位置的分散なので、これを
1:09:55	今、説明としては説明グループの考え方と、上から 2 番目ですね。
1:10:00	多様性独立性の話については、どうしてもシステム設計っていうか機能との関係で説明をしないとイケないところもあるので、
1:10:09	今グループさんに一旦フローということで整理をしています。ただここで、
1:10:15	多分もうちょっと整理をしないといけないのはこれで設計してクローズするんですかっていうところの整理もちゃんとしないとイケないので、その預けてるものと、ここで残してるものの関係ということを、
1:10:24	よりわかるように、明確に預けて本当にいいのかっていうところを整理がしないとイケないかなと。
1:10:31	もっていうところがまだ手がうまくついてないところ。
1:10:34	それ以外は、
1:10:37	ESAとする要求事項が特殊追加になったところをちゃんと明確にしてジョイントする部分と、追加で要求を課すもの。
1:10:46	いうことのない核にしなから紐付けをしていっているんで、
1:10:50	そんなに今、
1:10:52	悩ましい流れの作業が進んでいるかなと思ってます。
1:10:55	それから
1:10:57	だけ。
1:11:01	ジョイントしながら説明してるっていう、例えば例示でいくと 8 ページにある一番トップバッテリーの
1:11:08	構造設計のところですねそこで外部衝撃力防止で、構造強度を確保します。
1:11:16	いう部分と、屋外のアンテナの部分が、予備品との交換になったりしてるところもあるので、そういうのが、
1:11:23	一つの班、

1:11:25	許容限界というか判定基準が加わったという入江木藤構造設計のDBの説明に加えてそういった判定基準を持っている設備がありますと、というような整理の仕方をする。
1:11:36	ということでジョイントの仕方はしていると、ということです。
1:11:41	はい。
1:11:42	一応整理として
1:11:45	かなと思いますけど、
1:11:47	あとは、まだできてないところ、もう一つこないだあった設計説明分類を決めるときに、
1:11:53	可搬型重大事故THAI設備は、屋外に置いてあるものが一番環境条件も含めて考えなきゃいけないことがあるので、可搬設備は一律屋外ってやったものは、
1:12:04	ちょっと基本設計方針との紐付けも成立性がないので、
1:12:08	なぜかっていうと
1:12:10	外部衝撃、2 から守れる建屋に収納して守りますって言うてるカワセツジもいるので、そこは、そういった建屋とエントリーしているものに入っているものはオクない。
1:12:21	外に本当に置いてあるもの、あとはコンテナに入っているものは屋外ということで設管設備でも設計説明ぶりが分かれる人がいるっていうのは整理をして、
1:12:31	それに適した基本設計をして紐づけをするという作業も合わせてやらないといけないと思ってそこも進めています。
1:12:38	ということです。はい。
1:12:45	はい。
1:12:52	まず藤原さんから、
1:12:56	規制庁の藤原です。
1:12:59	こんぱい整理を、
1:13:02	明確にされたのは主語を明確にされた。
1:13:06	ということであれですかネコの 19 に紐付ける。
1:13:10	36 条の基本設計番号というか設計方針が少しずつ変わってきてるのはその制度って理解すればいいんですか。
1:13:18	はい。由井西尾でございます。はい、そうなります。はい。
1:13:23	対象物を明確にして紐づけをして、若干の出入りがあったので、はい。
1:13:31	はい。規制庁の藤原です主コガ、整理されたのであれば、紐つくところも、ある程度整理はされるのかなあと、
1:13:41	普通、今回提出されたときに、そういったものが少しわかるような形で提出されれば、予定にどういった整理の仕方を変えたのかとか、



1:13:51	ていうのが、なんでこの番号ないんだらうとかっていったところには繋がらなかったかなと思うので、はい。そういった配慮はいただきかったかなと思います。衛藤、あと、
1:14:02	36条のその秘密、紐づいてる番号に何か新たに①とか②とかが入ってるんですけど、これって何かどういう整理でついてきたんですか。
1:14:10	2上西ハラでございます。はい。これがですね、
1:14:21	なの。
1:14:22	性があるいけば、屋外にあるやつ、竜巻から、可能な限り位置的分散を図っております。というところに
1:14:32	例えば、影数に対する考慮っていうのと、飛来物に反することっていうのは、設計方針が、それぞれ、
1:14:41	タテなきやいけない。そういう展開をしないといけないっていう場合に、同じ基本設計方針の番号から、そのフラグをそれぞれ分けて、何を言ってるかが明確になるように0102とかっていう番号をつけてます。
1:14:52	8ページで言えば、
1:14:55	36条の91の①と書いてるものが、
1:14:59	風荷重に対して、影響を及ぼす変形が生じない構造。
1:15:04	ということと、その下にある、2個下にある②番というのが、
1:15:09	飛来物によって衝突荷重を考慮したときに、速やかに予備品で復旧できるようにするというような設計方針の展開を分類して今整理をしているということです。
1:15:23	はい規制庁の藤原です。わかりました。あれですかね、その分け方っていうのはこのセルの中の文章を見ればわかるようになってるということで、例えば7ページも、31番、
1:15:36	については0102ってあってまあ、ちょっと似たような方針かなと思いますけども、
1:15:42	あれですかね、少し、
1:15:45	違ってって、
1:15:47	それぞれ2名分散と、あとは子供の設備に対してっていうので分けたということ。
1:15:57	ここんとあこれ分けた方がいいんですか。
1:16:01	衛藤クボ委員。
1:16:03	はい、アノユフオオニシでございます結局は設計として示す時に、
1:16:11	対象物相手にあるものとの距離、日間離すと分散するっていうことと、それぞれの同士を引き離すということは配置として説明することで一緒にやればいいんですけど、
1:16:22	一応設計の説明としてそれぞれ分けて、

1:16:25	目的を明確にしたかったということです。
1:16:31	はい。院長のフジワラ。
1:16:33	そうですね目的を明確にしてっていうので分けたということなんで、整理の仕方としてそれがやりやすいのであればしていただけたらいいと思います。ただ後で、
1:16:44	ジョイントするんだったら切る必要があったのみたいなところもあるので、その点は全体通してで、あまり作業がいっぱい発生して無駄な作業とかが増えないようにだけしていただけたらと思います。
1:16:57	あともう1個今野の、ごめんなさい、古作です。今の点、ちょっと私が追いつけなかったんですけど、
1:17:07	分けた理由は、Dで、
1:17:11	どこに関係するの、同じものってどこっていうときに分けないと違う場所になっていくんでっていうことだと思ってたんですけど。
1:17:21	そうだとすると、改めて統合していくっていうことが、何で発生すのってよくわかんないんですけど。
1:17:28	どうなってるんでしょう。
1:17:32	はい、弓削西田でございます。今藤原さんがまず言われたのは7ページでいけば36条の31-01万人が今書かれてるけど、結局、
1:17:42	31代表と言って説明グループんとここで結局はジョイントして1個の項目になってるじゃないかということですね多分ここで分ける。
1:17:52	全体まとめて結局説明するんだったら、まず1番目に分けても意味がないんじゃないっていうことを、多分おっしゃっていただいたと思うので、
1:18:02	作業としてはその何かっていうのをちゃんと明確にして、目的を終えながら、最後説明その仕方をどうするかで、これまとめて結局やった分を、の方が合理的だよねとか。
1:18:13	いうことを考えているところは、ちょっとフィードバックかける書き方をどうするかを進めていくと考えます。はい。
1:18:22	それでいうと、そもそもここがこうなんで並んでんのっていう、
1:18:27	話してわからなくて、
1:18:30	結局無理クリー
1:18:36	今の
1:18:37	一番上に、その多様性独立性、位置的分散とあって、よって、機能の説明をしないとできないから、
1:18:45	そこまで、後送りにしますと。
1:18:49	いう話になってるところに入っているんで、
1:18:53	訳わかんないんですよ。
1:18:58	ソーレでセットで説明したいと思うのは、離隔の話だったり、

1:19:04	いうことになると思うんですけど、一方で構造で云々といったようなものは、
1:19:11	それにひきつれていってしまっはいけないんじゃないかな。
1:19:17	うんです。
1:19:18	もうグループ 1 で、DBと一緒に説明それはするんでしょう。
1:19:25	思ってたですね、
1:19:29	どこでその切り分けて後送りすんのっていうところの概念が、ものに引きずられちゃってるんじゃないかな。
1:19:37	ですよ。
1:19:39	別に代表が、
1:19:43	1 グループ 1 グループさんなりで、2 回出てきちゃ駄目なわけでもないし、
1:19:51	論点ごと、ここで今、分けられたように、説明項目分けたという趣旨は理解できるので、
1:20:01	その上で、
1:20:04	DBでいつ説明すんのってそれと一緒にだったら一緒に説明しちゃいましょうっていうコンセプトを、
1:20:09	しっかりとそれに応じた形で振り分けて欲しいな。
1:20:15	そうすると、
1:20:18	先ほどのフジワラの疑問というのは、解決、そもそもするんじゃないかなと。
1:20:24	うん。
1:20:25	ですよ。でも一方で、
1:20:29	1 回は地上に持ってきてからまた 36 条に戻すみたいな形になってるじゃないですか。
1:20:36	やっぱり機能で説明したいんですけどっていうものをするのであれば、
1:20:42	最初、
1:20:42	うん。表に戻って申し訳ないんですけど、36 条の資料 2 の中でちゃんと今お話のあったように分割をしてですね。はい。
1:20:53	その上で、36、結局
1:20:57	グループ 3D 機能としてっていうことは添付書類の中でも、
1:21:02	SA の機能の、
1:21:04	書類の中で説明するってことじゃないんですよ。
1:21:08	だとしたら 36 条野瀬がいい。
1:21:10	終わりにしちゃって、
1:21:16	DB の外傷、
1:21:19	それに振るというところのものを明確にして切り分けていく。

1:21:24	はい。
1:21:25	ふうに、
1:21:27	戻すっていうのかな。はい。そういう方向も考えて当初おられたと思うので、
1:21:34	それでもここまで分割して整理できればですね、話ができるんじゃないかなと。
1:21:40	いうふうと思うので、
1:21:43	ずっと検討いただいて、そういう検討するにはですね、
1:21:48	八条のシートじゃないです。はい。はい。ですね。はい。今日出てくるのは36条だと思ってたんですけど、8条しか出てこなかったの、
1:21:59	ちょっとびっくりしたんです。はい。
1:22:03	ちょっと今、今の話を踏まえて、
1:22:06	36条どうできるかということを一回やっていただいたらいいかな。
1:22:12	はい、弓削西原でございますはい、そうですね、おっしゃっていてもともとこれ、発端は36条で多様性独立性位置的分散のやつを八条どこにボンと振り回すと書いてあって、
1:22:24	結局出てくるのが1時分散しかないじゃないですかと、多様性独立性どこ行ったんでしたっけ。
1:22:28	おっしゃっていただいて36条が出たと分類して、こっちはこれでこっちはこれで全体でカバーしますみたいな話を整理して、フルバージョングループ適切に売ると。
1:22:39	ということで整理すると、ということだと思うんで、はい。
1:22:43	以上と。
1:22:45	今やってるやつ。
1:22:47	はい。一応ちょっとその整理を、に比べて、ちゃんと紐付けがどうなるかがあかんよ。
1:22:56	はい。
1:22:57	じゃあさんどうぞ。
1:23:02	規制庁のフジワライケダありがとうございます次に聞こうかなと思ってたところまで、基本的にはやりとりをしていただけたかなと思っていて、私も36条の整理、
1:23:13	やはり見ないと、結局、前回のヒアリングでの前回からの対応とかも見えないので、
1:23:22	36条の中での基本設計方針のひもづけっていうのがやはりこの前提にないと、こういった整理いただいても見つらいのかなと思っています。
1:23:33	ちなみに36条の方の経理の状況って今どんな感じなんですか。

1:23:38	はい。10年ニシダでございます。はい。当然、並行してやっていますんで、同じように、出せればよかったんですけど。はい。お化粧品を含めて。はい。
1:23:48	間に合わず、はい。でございます。
1:23:51	ものは、
1:23:54	はい規制庁持ちます。
1:23:57	いつぐらいに提出できそうとかまで言えます。
1:24:02	はい。人間イシダでございます。
1:24:05	そうですね。ええ。
1:24:08	ちょっと、
1:24:09	戻って、
1:24:11	調整します。はい。
1:24:14	保坂です。今できると言ったのは、
1:24:17	ここまでできて、
1:24:19	あれですね、36条のシートへ。
1:24:24	セガワいます。
1:24:26	はい。セガワおります。ですね、できていると言ってるのはまさにこの八条を作るにあたって36条側も関連するところを均しかけていたところでございます、
1:24:38	できてる範囲というのは、この
1:24:42	竜巻に関連するところですね、前回のヒアリングでも、何が同じようなことを述べているのかといったそういう表現の部分ですね。
1:24:53	そういったところのコメントもいただいていて、それをやはり36条の資料資料に下へ反映しようとするんですね、結構物量が多くて、
1:25:04	全部鳴らしきれてないというのが今の現状でした。本当は出したかったんですけども、話し切れてない文章を出してしまうとそれはそれでまた、
1:25:15	わかりづらいかなというので、ちょっと今回は出すのを、
1:25:21	やめたということです。36条側しっかり振るべきところにしっかり関連性を持ってくれば、理由もしっかり記載してくれば、それで36条としての整理は済むかなというちょっと甘い見通しで今回、提出を見送ったものでございます。すいません。以上。
1:25:40	瀬川さんの思わあ、正しいというかですね、そうしていただけると嬉しいと。
1:25:47	それがあるので、いいんですけど。
1:25:52	その上で、そろった状態になってるっていうのができてるって言うているのか。

1:25:59	どうかっていうことなんですけどまだ作業、それは先ほど来、はい。はい。
1:26:05	日本原電の瀬川です。えっとですね
1:26:10	各条側の表現をどうするかといったところを、または 36 条側にフィードバックしたり、36 条側でこういう預け方したいよねっていうのでは地上にフィードバックしたりというようなそういうやりとりがどうしても発生してしまっていてですね。
1:26:24	八条もうあらかたの作り方じゃ 36 条の竜巻関係もあらかた作り始めて、作り込んでいるんですが、やはりならしきれてないっていうのが実態で、
1:26:37	比較してみるとですね、今回の資料と 36 で全然リンクわかんないじゃんこんな表現じゃと、というようなものがやっぱりまだちょっと残ってるんですね。
1:26:46	そういう状況だったところもあってちょっと出し渋ったということです。以上です。古作です。それで言うと、一旦
1:26:55	八条でやってる文言を踏まえた、36 条の記載にはした。
1:27:01	けど、
1:27:02	わかりにくいんで、
1:27:05	ブラッシュアップをしたいということであれば、八条も併せて、
1:27:10	直組んでいた方がいいんじゃないかっていうことをやっているということで理解をしました。
1:27:19	やってますってことさえわかれば、今日共有していただいても、理解はできるだろうなど。
1:27:27	思いますし、実際どういう工夫をされてるかな。何回か現地確認をさせていただいてですね、把握もしてると思いますから、
1:27:38	意図は理解できると思うんで、提出いただいてもいいかな。
1:27:43	まっすぐ。
1:27:45	龍間間いを取りあえずやってますっていうことなので、
1:27:49	須賀。
1:27:52	36 条のシートとしては竜巻、何イシイと分けるわけじゃないと思うんで、
1:27:59	あれですかね、竜巻は書き込んでるけどそれ以外に何を書き込むつもりかみたいな、枠取りはしてあって、ツジで埋めていきますって感じで作られてると。
1:28:10	ですか。
1:28:12	日本原燃の瀬川ですご認識の通りです。枠は、竜巻以外の火山から他の改修をすべてですね、こういう設計項目でこういうことやんなきゃいかんというのは、

1:28:22	羅列し羅列というか
1:28:26	先を越してるんですけども、
1:28:28	そこの記載は、竜巻に比べればまだまだエイチームですし、竜巻は先ほどお伝えした通りまだ、資料館の整合もまだ図り切れてないというような状態でございます。
1:28:41	はい、曾田です。わかりました。であれば、
1:28:45	教諭。
1:28:46	していただいたものでサッとチェック 1 タダ、アノ、
1:28:50	スケジュールに組んでください。
1:28:55	はい、君島でございます。
1:28:57	はい。
1:29:05	規制庁の藤原です。あと今見れてる部分とかはいいんですけど、基本的には前回のヒアリングを踏まえたものが、竜巻の分についてはある程度の状況で出せるっていうふうに認識していいですか。
1:29:24	日本原燃の瀬川です。すいません。
1:29:28	あれ、これ私が、
1:29:31	瀬川さん。
1:29:32	すいませんですね。
1:29:34	今偉い偉いことになるぞっていうので、場所が変わる。
1:29:39	どこまでにいつまでに何をやるんだっていうのをですねちょっと作戦会議やっちゃったもので、もう一度発言してもらっていいですか。すいません。
1:29:50	規制庁の藤間です。早々に出せるっていう状況の竜巻の部分なんですけど、前回のヒアリングをコメントしたところって別に 1 回、今回出している部分だけとかそこで見れる部分だけじゃないと思うんですけど、そういったところって全体的に、
1:30:07	整理されたものが出てくると思っていいですか。
1:30:12	はい。日本原燃の瀬川です。少なくとも、竜巻の方、前回のように竜巻だけ抜粋して出すっていうことはまずやめたいなと思ってます全体出した上で、竜巻に関連してる内容がここだよっていうような形でハイライトして示すようなやり方にしたいなというのがまずい。
1:30:29	点です。で、その中で竜巻に関連する部分についてはですね、やはり本日お出し、本日お出した資料は一定程度整えたつもりでございますので、
1:30:41	こことのリンクをしっかりと読み解ける程度にはですね、中身で剛性測ってはかったものをお出しできればなと思っております。はい。以上です。

1:30:56	はい規制庁のフジワラ、わかりました。ではあといつ出せるかといったところ検討いただいて、また教えていただければと思います。こちらの会場です。
1:31:11	はい。
1:31:18	はい、西野でございます。
1:31:20	スケジュール、10 ページ。
1:31:27	これも本文でちょっと前振りをさせていただければよかったんですが、今9日の午後に入って切コウニイタニフカホリヒアリングという何のヒアリングかよくわからないというのが
1:31:38	前回もやりとりさせていただいて、技術的な懸案事項みたいなもので、共通要因と合わせてやるというよりは
1:31:47	その前段階で確認をしていきたいものっていうのを徳田市で今ヒアリングとして挙げさせていただこうということの一発目になります。他にもありますんで順次、
1:31:58	これも前回お話いただいていたの進め方ヒアリングでできる話であればその中に入れて、個別でやりたい場合は個別の案件としてあげて、
1:32:06	いうことで整理をさせていただこうと思ってます。
1:32:08	はい。
1:32:10	多分、全体がまたわからないと。
1:32:13	はい。木元でそういう説明も設置していかないといけないかなという気はしてますけど。はい。
1:32:18	コサクです。できればですね、個別で相談したいことっていうのであれば、
1:32:25	イマダとDBSA設計項目、精鋭方針、
1:32:30	いうことがまさにそれであって、
1:32:34	同じようにですね、何の案件かがわかるように、わかりましたし、
1:32:50	ヒアリング、
1:33:25	イマセ、
1:33:32	まずはその
1:33:35	ヒアリングの、
1:33:37	参加要望
1:33:41	の対象としては、SAと溢水と。
1:33:48	はい。土肥すいません。はい。
1:33:57	お話したいのは一つはですね、材料関係で言いますとさっき言った、
1:34:02	要件になるかどうかという地域区分の話が一つ。
1:34:07	それからもう一つはエッセイ関係の方ということでですね、地震の時のですね蒸気影響に対する防護の設計の、



1:34:14	ここはね、
1:34:18	なのか。
1:34:19	16時。はい。
1:34:24	わかりませんが、よろしくお願いします。
1:34:27	はい。今おっしゃっていただいた比嘉伊井を対応していただくかっていうのは、お話もあるんで案件がちょっと伺うと、事前にわかるように記載していきます。はい。
1:34:39	あと、まだスケジュールを入れてないのがSSS呉の面談を1月31日やらせていただきましたが、これ
1:34:50	3月の保安規定の変更との絡みで、当局の2月中にはもうまたやらないといけないと。
1:34:57	あります。ちょっと
1:35:01	前回出さなかった影響評価、2月末となるとまた同じようなバタバタ
1:35:07	なので私が
1:35:08	はい。そこも含めてはい。頑張ります。
1:35:13	2月末、どこか入れて、別途また次回から提示できるようにしていきますはい。
1:35:22	そうです。SSS面、
1:35:25	普段は
1:35:31	方面でいうと影響評価、
1:35:34	MOXのアノ、SD機能設計、発信とか、そうですね
1:35:41	MOXの方は、ヒアリング呉の方でも内容、
1:35:46	お話ししようと言っているので、
1:35:50	スケジュールを入れてもらう。
1:35:52	たらいいと思うんですね。で、単純に言うと、先ほどの、
1:35:57	グローブボックスの
1:36:01	グローブボックス内装機器っていうところに絡むので、評価パターン3、
1:36:07	もう、
1:36:08	説明スケジュールの中でどうやっていくんですかっていうのが、
1:36:14	になるんですよ。
1:36:15	今の
1:36:17	スケジュールの中に織り込まれてます。
1:36:22	イマセ。
1:36:24	入れてもらわないと、はい。
1:36:26	しないので、形態的にはどちらかという近傍について機器パターンと波及を考えなきゃいけない。
1:36:38	内装機器という。

1:36:41	はい、土肥とはいえ、設計として考えなきゃいけないってことで整理をして、入れていきます。はい。
1:36:50	そうですねけど何で内装機器もしないんですか。
1:36:57	カナイ別ですよ。
1:36:59	研修でいいじゃん。
1:37:05	ていうコンセプトが理解できない。なるほど。はい。そうすると、まさに、
1:37:10	どういうコンセプトで物を作っていくつもりなのっていうグローボックス入口で最初話しなきゃっていうことに合致してるんですよ。
1:37:17	どちらかで一番カッチてるんですよ。
1:37:28	はい。
1:37:30	で、それ以外ってなると、
1:37:34	いろいろプロセスの整理のブラッシュアップはありましたけど、ブラッシュアップしていけばいいかなというところなので、
1:37:44	トーンもどちらかというと、
1:37:48	社内規定の整備を、を考えていく中で論点になりそうなところっていうのがあれば抽出してお話いただくと。
1:37:56	いうことがメインかなと思うんで、それは、
1:38:02	そちらの進捗に応じていってくれば、
1:38:06	いいと思うんで、
1:38:07	へえ。
1:38:09	で、あとは影響評価。
1:38:11	ということですけど、営業評価は一応関連するインターフェースが抽出されて、
1:38:20	その社内規定とかも整理をしていく中ではその視点っていうのも明確に、
1:38:25	なるでしょうから、それは
1:38:29	並べればですね。はい。おのずと出てくる
1:38:33	ものだと思いますし、
1:38:35	詰めが甘くても話し合っ、
1:38:38	はい。整理できたらよ。
1:38:41	いただくっていうのもまあいいかなとは、
1:38:46	できれば、
1:38:48	に越したことはないんですけどね。はい。
1:39:06	8日に入れて、
1:39:11	了解人事ヒアリング
1:39:12	してるじゃないですか。
1:39:15	か用水別々だから、

1:39:18	1 日前に出してもしないんだけど事実、
1:39:22	はい、はい。
1:39:27	作業所長。
1:39:29	はい。
1:39:30	おっしゃる通り、
1:39:33	了解出そうと思うナカイできないと。
1:39:39	で終わってんだろう。
1:39:41	1 日詰めてる時点でそうなので、はい。ちょっとそこは考え、調整します。はい。
1:39:50	面談者で、
1:39:53	耐震絡みで、その支援者の人たちと話をして、最近はもう元の人、
1:40:00	出てから、県、
1:40:04	予定は、
1:40:06	何かそういう
1:40:09	話を聞いて、
1:40:20	後はさっき、
1:40:22	こういう話なんですね、一番ホテルについては、
1:40:26	16 日を待つんじゃないで、
1:40:29	その辺は、
1:40:31	会合でどんな話をするかも含めて、落橋の時でも、
1:40:37	して、
1:40:41	私、
1:40:49	規制庁岡です。ちょっと 1 点だけ確認系の確認なんですけど、今日提出される資料で、
1:40:56	閉じ込め 0 ニワなくて、8 日のヒアリング閉じ込め 0 に入ってるんですけど、閉じ込め言い間違えました。
1:41:05	閉じ込め 02 がですねすみませんちょっとまだ、最終的に、前回、
1:41:10	オープンポートファックスの報等ってそもそも全体にどういう作業があって、メンテナンスのことも考えたときどうするのって時にですね、
1:41:19	さすがに、
1:41:22	我々が口で制限しますと言ってもあまり論法もない独居もないので、
1:41:29	ちょっとどういう整理しようかなということで今悩んでるところがあるので、若干まだ、
1:41:36	条件をまたさらに追加しようかなと思っていてそこを下、設計側、運用側と調整を今しているところで時間がかかっています。お酒便りを鹿庭 02 が、

1:41:48	2 日に出てないので案件からは外します。15 日には確実に出そうと思ってます。はい。
1:41:56	はい。政調会長わかりました。あと、資料、評価パターン 1 と 2 というところで、前回ヒアリングを踏まえても、資料 3 に、
1:42:07	フィードバックはなくて、だから今回の 2 と 4 という、
1:42:10	ことだと思うんですが、一方で搬送なんかだと、資料 3 の、
1:42:15	ところで説明振ったものなんかの不足から移動したものが結構あって、その辺の関係はし、今回わかるようにはなってるんですけど、はい、二本木西田でございます。はい。まず、
1:42:28	搬送でいくと今今回 123 と三つに分けて 1 ポツの、まず何を対象にするかっていうところの話と、構造設計の話、あと評価の話ということで、
1:42:39	分けました。搬送 01 の方の、何を対象にするかは、
1:42:43	ちょっと正直補足で頑張ってるんですけど資料 3 の①とかにもフィードバックかけないと駄目かなと思っていてそこは今まだちょっと追いついてないところです。
1:42:54	高速の 01 で説明をした上でこの部分は、資料 3 の①に反映しますから反映しますってことを、ヒアリングの場でも説明できるようにはさせていただこうと思ってます。
1:43:05	資料 3、搬送 02 も、資料 3 側にフィードバックがかかる部分も若干ながらあると思っていて、
1:43:13	そこも含めて全体、どういう枠組みで今後展開していくのかが説明できるようにしようと思ってます。はい。はい、わかりました。はい。
1:43:23	長です。
1:43:31	なければ、全体振り返ってという形でお願いします。
1:43:39	千葉の方から、
1:43:46	永井。
1:43:48	何がどこで、
1:43:53	何だと思っております。当然ちょっとできてないといけないんですけども、当面です。
1:43:59	モデルの設計議会の会合を経営のあまり相当考えてるんですけどもそこに向けまして、5 日中で早々に方向性を明確にする。
1:44:07	それが
1:44:16	こうやらなきゃいけないじゃセキカタカイ、
1:44:30	だから、
1:44:42	なってしまったのを、今この場で非常に反省いたしました。ちょっと見せられてやっていただきたいというふうになってございます。それからですね、技師さんをいただきますようなウメダンですねちょっと、

1:44:55	もう我々も、そうですね前野ソウノ中口の位置付けも含めて整理して、ちょっとスケジュールリング等々アイテムも含めて調整させていただきたいというふうに思いますんで、
1:45:07	このですねホシノところをちょっといつをお示しするということは、今ちょっとお約束できてないですけども少なくともラップアップのときに、いつどこでどういうふうにお伝えすると、
1:45:18	いうところをちょっと議論させていただくということかなというふうにして、
1:45:25	補足です。ちょっと、
1:45:27	地盤じゃないんですけど、耐震っていう関係ではその先の、
1:45:32	機器の評価までの進め方っていうのを、考え方を整理して、
1:45:38	ということでそれも早めについていうお話しした。
1:45:42	ですけど、それは一体と思って、来週に対応する。
1:45:47	ですね。
1:45:50	そうだね。
1:45:52	ちょっと別でいいですけど、振り返りが一つ一つに求められたかのように、はい。ちょっとそれは別で、一旦大きな話で言っておきながらも、
1:46:04	どうか、提供するかといったところまでで、スケジュール感とか、学校の方はもう、もっと先の話かなと思ってますのでちょっと、
1:46:12	もう少しお時間いただきたいと思います。
1:46:15	そのあたりどうするかは、少なくとも進め方冷やでは、
1:46:19	忘れないようにして、
1:46:25	はい。
1:46:26	西原さん、ございます。まずは、いろいろあってない。
1:46:35	ボックスの2ポツの方での強化グループ説明グループ(1)の説明がよく1評価のところ、今自治会と理解できたんですけどこれのベースが、2ページ目の、
1:46:47	2-2の解析評価ホシノ三つ目で説明した内容。
1:46:51	これが自治会と自治会で分けてる内容が本当に、
1:46:55	理事会の内容に維持できるもの、関係する、要は解析同様市もすべて影響があるのかなというのをちょっともう、ちょっと見分けてですね、仕切りを考えると、
1:47:07	ということで、お話をさせていただいたと。
1:47:11	後全体個別王族の作り方というか対応し方については、今回のMOX税の資料3資料4でのやり方、
1:47:23	実績を踏まえて、整理をし、今後の個別補足説明書をどう作っていけばいいのかということ。

1:47:32	考え方を整理をして、
1:47:34	合わせて、レベルだったり、共通 06 だったり、フィードをかけなきゃいけない方にも展開をしていくと。
1:47:41	ということで、
1:47:43	話をさせていただいたものが一方、
1:47:45	あと 2 ページ目の 2-1 のシステム設計構造設計のところの、0 点の三つ目のところで 1 回目 2 回目と分けているところ、これ
1:47:54	ディー・ディー・エス上院当社状態での共通の前にですね、前回の 1 月、11 月 30 日に出した資料のコメント会社。
1:48:03	いうことをやるということでちょっとヒアリングの日程も含めて整理をしていく。
1:48:09	はい。
1:48:10	あと別添 1 の方の、
1:48:13	5 ページですねまず説明グループ 1 のボックスの評価のところは前の方の本文で行っている仕訳と合っていないところがあるので、そこはセキにしていくということ。
1:48:25	説明グループそれぞれの評価最初に表債処理廃棄物管理の評価のところを、ここにちゃんと入れてジョイントしかつたというのを整理をしていくと。
1:48:35	はい。
1:48:37	あと、溢水とか火災での連携のところがもうちょっとちゃんと、どこが全体の程度を関係するののかというのを抜かして、
1:48:45	が必要だと。
1:48:47	ということ。
1:48:48	すごいね。はい。
1:48:50	あとは、最初の説明グループ 2 とこの耐震で代表云々と書いてあるところ、これ
1:48:56	今やってるさんがちゃんと整理をしていった説明させていただくという、
1:49:01	ステージとして考える。
1:49:05	あと別添の 2 の方は、今回さ、八条のシートだけ出しましたけど一部ということで、
1:49:12	八丈立抜きと 36 条がセットになった状態で現状進めている様と、どういふところを工夫したのかということもわかるような説明書きを加えて、資料を出させて、
1:49:25	いうことのタイミングも含めて整理をして、スケジュールを反映していくと。
1:49:30	うん。

1:49:30	です。
1:49:31	はい。
1:49:33	あとはスケジュールの方であったノジリ的な案件の話、懸案の話ですね、これ事前にちゃんと案件がわかるようにということと、
1:49:42	スケジュール的に
1:49:44	全体何がついていうところも含めてどっかでちゃんと説明をするということかと思います。はい。
1:49:50	あとIIIASは、次回の面談の日程をしっかり止めていただくと。
1:49:58	後も苦痛の方の共通上に、豊田のヒアリング同日に、
1:50:05	評価パターン括弧3の資料が出ていると。
1:50:07	物理的にちょっとこれ無理があるので、
1:50:10	日程をもう一度考えますとですね。はい。
1:50:14	前倒すしかないんですか。はい。
1:50:17	そうですね。はい。
1:50:28	あ、
1:50:35	はい。
1:50:37	規制庁横山です。ちょっと確認なんですけれども、
1:50:41	次回会合資料今日の午前提示となっておりますけれども、この50分ぐらいですか、出てくる。
1:50:47	というのがいいんですよ。
1:50:48	でございます。えっとですね、今実務部隊だけ離れてどんどん手続きが進んでるので、大丈夫だというふうには思っております。はい。
1:50:59	規制庁横山です。
1:51:00	出てくるということで、
1:51:02	お願いします。
1:51:03	あと、今年度残りあと2月22日1回やって3月末1回とありますけれども結構多分詰まってきて、
1:51:11	パンチングごめんなさい、3月は、
1:51:14	3月末と限られて、中旬を救助活動或いは中旬を用意して、まずは、
1:51:22	流れるかもしれないという、微妙なところに絞られない。
1:51:30	大分スケジュール感詰まっていますので資料作る時間とか、
1:51:35	池戸弘中も受けて、ホームページ掲載、
1:51:41	結構、
1:51:42	というので今日の午前中に渡してくださいというところも話もしていましたので、
1:51:46	そのあたりのスケジュールをきちっと厳守してもらえればと思いますのでよろしくお願いします。

1:51:51	私から以上です。
---------	----------